

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 人間福祉学部 |
| 大項目 | 9 教育研究等環境 |
| 中項目 | |
| 小項目 | 9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。 |
| 要素 | 教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保 |

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 | | | | |
|--|--|------|------|------|------|------|
| | | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 教員の個人研究費、図書費、研究専念時間を確保する。 | →文部科学省科学研究費補助金、中央省庁などの外部資金獲得への申請件数、採択件数および獲得額。 | B | B | | | |
| 2. TA、ゲストスピーカーを配置する。 | →TA、ゲストスピーカーの人数。 | B | B | | | |
| 3. 施設・設備検討委員会において講義室、パソコン教室といった教育研究等のための施設、設備の整備について検討する。 | →各教室の利用頻度。 | B | B | | | |
| 4. 資料室委員会において資料室の整備について検討する。 | →資料室ののべ利用人数。 | B | B | | | |
| 5. 実践教育支援室運営委員会において実践教育支援室などの教育研究等を支援する施設、教育研究支援体制の整備について検討する。 | →実践教育支援室ののべ利用人数。 | B | B | | | |
| 6. 研究倫理委員会を設置を検討する | →研究倫理委員会設置の要綱等。 | C | C | | | |

☆

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|-------------------|-----------|------|------|------|------|------|
| | → | | | | | |
| | → | | | | | |

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

| | | |
|---|----------|---|
| ☆ | 小項目9.0.4 | 9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。 (説明) 個人研究室、講義室、演習室、パソコン教室、特殊教室等の教育研究を支援する環境は概ね充実している。しかし、研究に専念する時間の確保に関する検討は今後詳細に行う必要がある。授業補佐、教学補佐等は現在の数が妥当かどうかについても検討を行う必要がある。 |
| ☆ | その他 | |

《評価指標データ》

(特定指標データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

| 【人間福祉学部】 | | | 単位 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 備考 |
|----------|---------------------------|---------------|----|------|------|------|------|------|--------------------------------|
| 指標1 | 教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐の採用数 | 教学補佐 | 人 | / | 9 | 11 | 10 | 12 | 他に、人間福祉実習助手5(2008、2009、2010年度) |
| | | 実験実習指導補佐・教務補佐 | 人 | / | 1 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 授業補佐 | 人 | / | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 指標2 | 専任教員の担当授業時間(平均) | 教授 | 時間 | / | 9.8 | 10.5 | 12.5 | 14.3 | 45分をもって1時間に換算 |
| | | 准教授 | 時間 | / | 10.7 | 10.5 | 12.3 | 14.1 | |
| | | 講師 | 時間 | / | 16.2 | 15.2 | 18.0 | — | |
| | | 助教 | 時間 | / | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 9.0 | |

(その他の指標データ)

- 専任教員の研究費(実績)【大学基礎データ】
- 専任の研究旅費【大学基礎データ】
- 学内共同研究費【大学基礎データ】
- 教員研究費内訳【大学基礎データ】
- 科研費の申請・採択件数【大学基礎データ】
- 学外からの研究費の総額と一人当たりの額【大学基礎データ】
- 外部資金等導入状況【基本的な指標データ】
- 教員の研究室の整備状況【大学基礎データ】
- 学部、研究科ごとの講義室、演習室の面積・規模【大学基礎データ】
- 学部、研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規【大学基礎データ】
- 学部、研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況【大学基礎データ】
- 留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況【基本的な指標データ】

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 小項目9.0.4 | 文部科学省の科学研究費補助金の採択者数や教学補佐数が増加している。 |
| ☆ その他 | |

《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

| | |
|----------|--|
| 小項目9.0.4 | |
| ☆ その他 | |

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

| | |
|----------|---|
| 小項目9.0.4 | 専任教員の担当授業時間が増加しているため、それを減らすことにより、研究に専念する時間を確保する必要がある。 |
| ☆ その他 | |

《次年度に向けた方策(2)》改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

| | |
|----------|---|
| 小項目9.0.4 | 教員の研究専念時間を確保するために、実習教育に費やす時間数や会議等に要する時間について調査し、専任教員数および非常勤講師数の増加を検討する必要がある。 |
| ☆ その他 | |

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○様々な教育研究等環境の整備が着実に進められていますが、教員の研究専念時間の確保については更なる前進が望まれます。

【学内委員】

○専任教員の担当時間数の平均が増えています。原因などの検討が期待されます。

○ハード面—個人研究室・講義室・演習室・パソコン教室・特殊教室等の環境整備は、年次進行に伴い、順調に進行しています。しかし、ソフト面では、科研費など研究費の確保・教学補佐の整備等は比較的順調としても、研究（専念）時間の確保等の面での課題が残され、その確保のための検討が期待されます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目9.0.4

基盤評価：「専任教員に対して、研究活動に必要な研究費を支給している」「専任教員に対する研究室を整備している」

○小項目9.0.4&9.0.5

達成度評価：「教育研究を支援する環境や条件が、その整備・運用状況等から見て、方針に沿い、適切である。その際、下記事項については、当該大学の特質に応じて、適切な配慮を行っている。

- ・研究専念時間の設定など、教員の研究機会の保障
- ・ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）等の人的支援
- ・研究倫理に関する規程の整備、研修会の開催、学内審査機関の設置等、研究倫理を浸透させるための措置

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし